

宛先



ニューズレター

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

No. 74

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/lora/index.html>

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/ialt/index.html>

平成25(2013)年 9月13日

地盤専門部会活動

第4回「佐賀の地質」技術研修会報告

7月26日(金)に第4回目となる「佐賀の地質」技術研修会が開催され、九州大学大学院・下山正一博士、日野幹事長・地盤専門部会長による講習ならびに実技指導が行われました。参加者は54名で、多くの方にご参加いただき、ボーリングコアに関する観察や分析方法が解説されました。

本研修会は5回の開催を予定していましたが、諸般の都合により本年度が最終回となりました。今後も佐賀で地質に携わる技術者の技術向上の一助のための活動を企画しますので、その際にはぜひご参加のほど、お願いいたします。



第1回月例勉強会の報告

7月25日(木)、佐賀県自治会館会議室において橋爪康行氏(佐賀県農山漁村課技術監)に「旧堤防(二線堤)の活用調査結果について」という話題をご提供いただき、第1回月例勉強会を開催しました。参加者は23名でした。

有明海沿岸の高潮対策堤防の整備状況や二線堤の残存状況、数値モデル解析結果などを題材に、昔の二線堤に対する周辺住民の認識や、避難経路などを示したハザードマップの作成など、新たな災害対策計画に関する意見が多く述べられました。



経済専門部会活動 バス見学会報告

8月4日(日)、40名の一般参加者とともに「飛鳥宮と飛鳥浄御原宮を探す旅」と題するバス見学会を実施しました。最初の見学地は、小郡市と大刀洗町の境目にある7世紀初めの下高橋遺跡であり、10軒の高床式の建物の跡を発掘した古田武彦氏が飛鳥宮と想定している地です。次の小郡官ヶ遺跡では、7世紀後半の建物群が当時の北極星を基準として鬼門方向を向いていることを観察し、飛鳥浄御原宮である可能性を考察しました。同遺跡の北東にある中哀天皇を祀った御勢大霊石神社の見学では、宮司さんの計らいで本殿に上り、同殿の説明を受けました。昼食後、小郡周辺域の発掘調査の資料が展示されている福岡歴史資料館を見学し、先の遺跡の歴史的背景を実感しました。最後に、九州歴史資料館を見学して九州の遺跡の現物や資料を見学し、考古学的発掘の方法や当時の衣装、武器や道具の作り方などについて体験しました。



第2回月例勉強会の報告

8月29日(木)に第2回月例勉強会を佐賀大学菱の実会館において開催しました。「回転破碎・拡散混合工法の低平地地盤への適用」との題名により、栖原秀郎氏(日本国土開発株式会社、佐賀大学客員教授)にご講演いただきました。参加者は22名でした。この工法では、建設発生土の破碎、添加剤の均一的混合、土壌浄化などが可能なことが説明され、質問者からは有明海の浚渫泥土や有明粘土への適用性、施工実績などに関して多くの質疑が交わされました。



低平地研究に関する豆知識-その11-

じょうご造り民家

じょうご造り民家は、屋根が漏斗（じょうご）のようにくぼんでいます。雨はそのくぼみから家の内部の樋（とい）を通過して外の樋に溜まります。有明海沿岸低平地にのみ確認でき、建築学や民俗学ではすこぶる有名なことをはじめ、世界的にも希有な存在です。



じょうご造り民家（「山口家住宅」
国重文、佐賀市川副町大詫間）

外観は、屋根面が四方にまわる端正なスタイルですが、屋根内部の架構は複雑です。多雨な我が国で雨漏りの原因となるくぼみをつくってよいものか。島や乾燥地域ならまだしも、佐賀の低平地で雨水利用は必然なのか。

この「かたち」をめぐる、幾つもの謎解きが試みられています。小部材を用いる必要があった＝木材不足説、屋根の高さや面積を抑えて台風などに対応した＝強風対応説、また屋根や家の加重を分散させる不同沈下対策ではないか＝軟弱地盤対応説、などがあります。私の研究室では、広く平坦な低平地では四方からの屋根の見え方が重要であり、屋根谷が見える「くど造り民家」からの発展、つまり住まい手が欲した「かたち」ではないか＝四方見え方重要説、について研究中です。じょうご造りは謎が多く、実に興味深いのです。（佐賀大学・准教授 後藤隆太郎）

低平地研究会20周年記念事業のご案内

低平地研究会は、平成5年11月の発足のから20年を迎えます。会員の皆様のご支援により、永年に渡り活動を続けることができました。心よりお礼申し上げます。

20周年記念事業として、特別講演会ならびに懇談会を下記の要領で開催します。

皆様のご参加をお待ちし申し上げます。

特別講演会

日 時：平成25年10月24日（木）14:00～17:30

場 所：佐賀大学理工学部6号館1階都市大講義室

講演者：国土交通省九州地方整備局

局長 岩崎泰彦 氏（予定）

前田建設工業株式会社

総合企画広報グループ 岩坂照之 氏

懇談会

日 時：平成25年10月24日（木）18:00～19:30

場所：佐賀大学理工学部6号館2階多目的セミナー室

会 員

特別会員

動 向

株式会社 馬渡商会

当社では、土木・建築用コンクリート二次製品をもとに、様々なインフラ整備に携わってきました。佐賀平野流域の治水事業においては、地質の大部分が沖積層からなり、表層部には有明粘土層が堆積しています。この地質の特性を踏まえ、従来より組立柵渠やコンクリート杭等の工法で施工してきましたが、今後も河川の安定はもとより、周辺の環境にも寄与できる商品づくりを目指し、社会基盤整備に貢献していきたいと考えています。



低平地研究会活動内容・日程の案内

◆ 第3回 低平地月例勉強会 ◆

話 題：「多目的環境材料（ミラクルソル）の低平地における環境分野への応用と展開」（仮）

話題提供：松尾保成 氏（日本建設技術株式会社）

日 時：平成25年11月15日（金）15:00～16:30

場 所：自治会館4階大会議室

◆ 水専門部会 現地見学会 ◆

テーマ：「低平地の水環境と歴史」

見学地：昇開橋～デレーケ導流堤～佐野常民記念館～三重津海軍跡～東与賀海岸（干潟）

（巡回ルートは未定）

日 時：平成25年11月16日（木）9:00～16:00

参加費：無料（ただし弁当代500円）

参加申込：参加希望者は10月31日までに事務局・江頭宛にメールまたはFAXにてご連絡下さい。

E-mail：egashira@ilt.saga-u.ac.jp、FAX：0952-28-8189

◆ 水専門部会 講演会 ◆

テーマ：「大規模災害時の地域継続戦略～大規模災害時の企業・公的機関のBCP～」

講 師：中野 晋 氏

（徳島大学環境防災研究センター・教授）

会 場：佐賀大学内菱の実会館会議室

日 時：平成25年11月22日（木）15:00～17:00

参加費：無料

◆ 歴史専門部会 現地見学会 ◆

テーマ：「河副荘を廻る」

（川副町と勝尾城の散策）

日 時：平成25年11月開催予定

場 所：佐賀市川副町、鳥栖市勝尾城

編集後記

10月には20周年記念事業、11月には多くの部会活動を開催しますので、会員の皆様のご参加をお待ちしています。

編集担当：三島、江頭、日野（佐大：mishima@ilt.saga-u.ac.jp）